

タクシー移動編（当地における移動中）

リオデジャネイロの治安状況を勘案すると、空港からの移動と同様に「RADIO TAXI※下記参照」の利用をお勧めします。「RADIO TAXI」と一般的な黄色いタクシーの差異として、「RADIO TAXI」の場合乗車日時から溯って運転手を割り出すことが容易である点が挙げられ、運転手側もこの点を十分認識しているので自らの行動を自粛します。尚、交通事情が劣悪であること、地理に不案内な為にファベラ（スラム街）に迷い込む危険があること等から、レンタカー等の利用はお勧め出来ません。

※「RADIO TAXI」…各社車のボディーカラーが決まっています。代表的な会社は以下の通り。
Transcoopass（赤）Tel. 2209-1555/ 2209-1565 / 8112-8185/ 8112-8140
Coopatur（グレー）Tel. 3885-1001 / 3398-4305 / 3398-4306 / 3398-4858
Cootramo（青）Tel. 3976-9944 / 3398-3751 / 3398-3752 / 3398-3040
Coopertramo（白）Tel. 2209-9292 / 3398-3809/ 3398-2338 / 3398-2322
Transcootur（緑）Tel. 2590-2300 / 2590-2220

注意点

市内の移動には「RADIO TAXI」を利用する

「RADIO TAXI」の手配は宿泊ホテルのレセプションに依頼するか、当地駐在員に手配をお願いしましょう。宿泊ホテルのレセプションに依頼する場合、事前に道程及び所要料金を確認しましょう（支払後にはレシートを受領する）。

また空港に到着の際、やむを得ずタクシーを利用する場合は、空港内のタクシーカウンター（到着口に数社あり）で「RADIO TAXI」の乗車券を購入して下さい。

やむを得ず黄色いタクシーを利用する場合は下記に留意する

黄色いタクシーを利用する場合でも、タクシーポイント等に待機しているタクシーの利用をお勧めします。これは、相対的に運転手を特定しやすいこと、問題を起こせばタクシーポイントから追放されること等を認識している運転手が問題を起こす可能性が低い為です。

料金メーターが初期設定されているか、乗車時に確認しましょう。因みに、平日21:00迄のTariffCategoryは“1”（基本料金）であり、平日の21:00以降早朝6時まで及び休日（終日）のTariff Categoryは“2”、割増料金となります。但し、12月は利用時間帯に拘わらずCategoryは“2”となります。また、タクシーが移動し始めたら、料金メーターがきちんと作動しているか確認し、作動していなければ運転手に指でメーターを指す等して作動を依頼しましょう。（たまに料金メーターの作動を忘れる運転手があり、移動開始時に指摘しない場合、後で料金に関して運転手と揉める可能性がある為です）

タクシーは自家用車に比べ盗難・強盗被害は相対的に少ないと言われますが、信号待ち・渋滞中に被害に遭うケースもあります。運転手席の窓も含め全ての窓を閉めるよう（エアコンを依頼する等して）依頼し、車内では所持品（特にパソコン等貴重品）を外から出来るだけ見えない場所に置きましょう。

トラブルに遭遇した場合

万が一強盗事件に遭遇した場合、絶対に抵抗せず冷静に行動することが重要です。犯人が拳銃等の銃器を携帯していることを念頭に置いて、反撃したりすることなく、ゆっくりとした動作で行動する必要があります。慌てて内ポケットなどに手を入れたりすると、抵抗するものと勘違いされ、負傷させられたりすることにもなり兼ねません。

一方、運転手とのトラブルを避けることも肝要です。遠回りをしたり、料金メーターの回転がおかしく不当請求されても、文句を言わず領収書を受領して言値を支払いましょう。